

アルスエレクトロニカ TOKYO 2020

リンツで、アート思考による未来の街づくりについて、アルスエレクトロニカ創始者のハネス・レオポルトゼーダー教授（写真下）を交えて活発な議論を行いました。

東京オリンピック・パラリンピック組織委員会テクノロジー諮問委員として、歴史上最もイノベティブなオリンピックにするために、新たなテクノロジーの可能性について探求しています。



アートxテクノロジー： 未来社会の創造

東京オリンピック後の2030年、2040年の未来社会を創造するために、総務省 情報通信審議会 情報通信政策部会 IoT新時代の未来づくり検討委員会(産業・地域づくりWG)にて『スマート・ウィズダム 2040: ヒューマン・ファースト・イノベーションの可能性』についてプレゼンテーションを行いました。

科学技術イノベーションがもたらす新たなチャンスを最大に享受して、リスクを最小にして自己実現を可能にするための**スマートウィズダム**について、政府や企業、国内外の研究者の方達とともに探求していきたいと思います。



お茶の水女子大学 理学部 数学科卒業
東京大学大学院 社会学研究科 修士課程修了
東京大学大学院 人文社会科学系研究科 博士課程単位取得満期退学
英国ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス大学院 博士課程修了Ph.D. 取得 (社会科学博士)

2010年 オックスフォード大学 教育学部 客員リサーチ・フェロー

2010-2011年 ハーバード大学 バークマンセンター ファカルティ・フェロー

2018-2019年 ケンブリッジ大学 フューチャー・オブ・インテリジェンス研究所 客員研究員

現在、早稲田大学 文学学術院 教授。東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 テクノロジー諮問委員会。情報通信審議会 情報通信政策部会 IoT新時代の未来づくり検討委員会(産業・地域づくりWG)。情報通信白書 アドバイザリーボード。オックスフォード大学 ケログカレッジ コモンルームメンバー。米学術雑誌 "Television and New Media"(Sage) 編集委員。英学術雑誌 "Global Media and Communication"(Sage) インターナショナル・アドバイザリーボード。

講演・共同研究・コンサルタントのご依頼

〒162-8644 東京都新宿区戸山1-24-1

早稲田大学文学学術院 高橋利枝研究室

Email: toshie.takahashi@waseda.jp

高橋利枝オフィシャルウェブサイト

<http://blogs.harvard.edu/toshietakahashijp/>

早稲田大学 高橋利枝研究室

ヒューマン・ファースト・イノベーション

AI・ロボット研究 メディアコミュニケーション



AIのチャンスとリスク

AI（人工知能）に関する教育やワークショップ

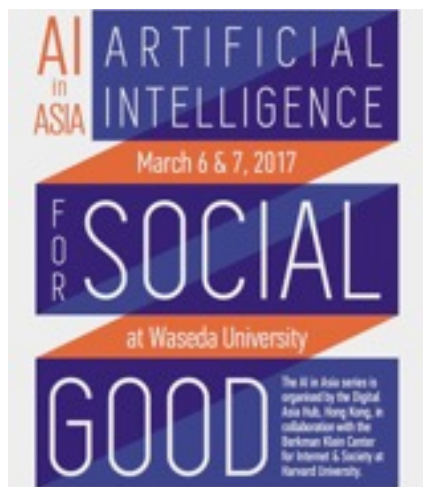
AIのチャンスとリスク、その活用について、教育・啓蒙活動を行っています。2017年は、社会情報学会での基調講演や、東京大学にて次世代のグローバルクリエイティブリーダーに向けた招待講演などを行いました。また、ナレッジキャピタルでは、起業家を対象に、AIを活用したイノベーションに関するワークショップを行いました。

AI時代におけるこころ♥プロジェクト

AI時代における重要なキー概念の1つである『心』に関して、若者達へのインタビューを始め、AIやロボット研究、宗教、コミュニケーション・テクノロジー、社会学、心理学、哲学、アートなどの専門家と共に、多様な側面から探求しています。

ハーバード大学との国際シンポジウム”AI for Social Good”を開催しました！

2017年3月早稲田大学で、ハーバード大学やオックスフォード大学を始めとする国内外第一線のAI研究者を招き、国際シンポジウムを開催しました。



ロボットとイノベーション

ソーシャルグッドのためのロボット

AI社会では、自然科学と人文社会科学の垣根を超えた**クロスディシプリーなイノベーション**が求められています。2017年よりロボット工学の世界的権威 Paolo Dario教授（写真下）と早稲田大学理工学部と共に『ソーシャルグッドのためのロボット』の国際共同研究を行っています。

ロボット・エンゲージメント

ロボットと人間との相互作用に関するフィールド調査を行なっています。

ロボコノミー

ロボットから得られるリアルデータとブロックチェーンによる『ロボット・エコノミー』研究を、2018年よりロシア/ブリュッセルITMO大学と行います。



スマートスタジアム・スマートシティ

2020年東京オリンピックに向けて、スタジアムのスマート化とICT活用による地域の活性化に関して、NTTグループの委託研究を行いました。

携帯電話/スマートフォンとソーシャルメディア

1999年から若者の携帯電話/スマホやSNSに関する国際比較調査をソニア・リビングストーン英国LSE大学大学院教授・ICA学会前会長と行なっています。



若者とデジタルメディア

オックスフォード大学教育学部や、ハーバード大学バークマンセンターと「若者とデジタルメディア」に関する国際共同研究を行っています。

この研究成果として、日英米3カ国の若者に行ったインタビュー調査をもとに出版された『デジタル・ウィズダム』(新曜社、2016年)は、2016年度テレコム社会科学賞入賞を受賞しました。

